

「日本神経精神薬理学雑誌」 第29巻 第2号 2009年4月

特集：学会シンポジウム

臨床医がうつ病モデル動物に望むもの

野村聡一郎・重村 淳

うつ病モデル作成のため基礎研究者が臨床医に望むこと

泉 剛・吉岡充弘

臨床知見に基づいた統合失調症動物モデルを作製するために—統合失調症モデル作製のため、基礎研究者が臨床医に望むこと—

野田幸裕・毛利彰宏・脇由香里・鍋島俊隆

探索的臨床試験におけるイメージング・バイオマーカーの意義

高野晴成・須原哲也

PET による向精神薬の臨床評価…高野晶寛

イメージングバイオマーカーの開発戦略…石渡喜一

遺伝子改変マウスを用いたイメージングバイオマーカーの評価

前田 純・樋口真人・須原哲也

原著論文

Delayed Sympathetic Hyperactivity Following Electroconvulsive Therapy in Patients with Catatonic Schizophrenia

Tatsuro KUWAHARA, Aihide YOSHINO, Naoshi HORIKAWA and Soichiro NOMURA

ミニレビュー

脳由来神経栄養因子およびグリア細胞由来神経栄養因子と神経精神疾患との関係

日比陽子・新田淳美・鍋島俊隆・山田清文

お知らせ

第1回アジア神経精神薬理学会